

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	今里保育園	施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		

平成29年3月7日

総 評	<p>今里保育園は、平成24年に自然木で建てられました。1階の保育室やランチルームには、床暖房を設置し、冬でも子ども達が遊びやすい施設になっています。また、隣接する長岡第七小学校の敷地内の畑を借り、野菜を育て収穫しています。北側には広い田畑があり農道は散歩コースになっており、農家の方との交流などもあります。</p> <p>調査日は小屋の上に積もった雪や園庭の雪で、子ども達は雪だるまを作り、雪合戦などを楽しんでいました。</p> <p>園バスは、登録している家庭だけでなく、急な事情ができた保護者の要望に応え、当日申し込みの送迎を受け入れる（座席がある時のみ）などの対応をして、地域の子育てを支援しています。</p> <p>園長は、保育の質の向上を図るため職員の育成に努めています。また保護者に「手をかけて育てることの大切さ」伝え、時には意見が異なることもあるようですが、その会話が重要だと捉えています。全職員のチームワークで全園児を見守る姿勢で保育に当たっており、子ども一人ひとりの環境や個性の違いを大事にした保育を勧め、「親も子も共に育ちあう保育園」目指しています。</p>
特に良かった点(※)	<p>○食育の推進について</p> <p>畑で育てた野菜を収穫しクッキングをしたり、園庭や2階プレイランドで雰囲気を変えて食事を楽しんだりしています。献立の食材を色別で紹介し、毎日交替で5、6名の5歳児が「あじみ係」として食事前におかずの味見をし、使用している具材、調味料が何かを考えさせる等、食べ物に興味を持てるような工夫・取り組みをしています。</p> <p>○保育内容の発信について</p> <p>園・クラス・保健・給食日より、年間行事予定などを発行し、保育内容などをわかりやすく説明しています。さらに保育課程の「教育」について、遊んでいる時の保育士の言葉かけや、子ども同士の会話などを写真や絵や文章を貼付けたドキュメンテーション(掲示物)を作成して説明しています。</p> <p>○小学校との連携について</p> <p>小学校との連携を積極的に奨めています。平成27年度は縦割りグループ交流、運動会、交流授業、作品展見学、給食体験、授業体験など、14回に亘り交流しています。平成28年度はさらに4年生と年長児の音楽物語の練習を複数回行い、6月に発表しました。交流を継続することで、園長、保育士が小学校の先生と話す機会も増え、保育課程の教育にある言葉・表現・人間関係・環境などについて知ってもらえるようになったとのこと。</p>

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<p>○マニュアルの見直しについて 各種マニュアルを作成し、見直しを行っているとのことですが、見直しを行った時期が記載されていない物もあります。見直された年月日を記載することで、マニュアルが充実していく経過等がわかりやすくなると考えます。</p> <p>○個人研修計画の作成について 長岡福社会のキャリアパス（初任・中堅・リーダー、管理職・指導職・一般）に則り、職員の得意分野、感心分野の研修などを取り入れ、職員のスキルアップを図るようにしていますが、職員一人ひとりの個別計画は、来年度に作成する予定とのことでした。分かりやすく、しっかり活用できる個別計画を作成されることを期待しています。</p>
---------------------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人 長岡福祉会 今里保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成29年1月16日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	B	B
	I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

I-1-1(1)①保育理念はホームページ、パンフレット、今里保育園概要、園だより4月号に明文化しています。
 I-1-1(1)②保育理念に基づく基本方針・保育目標をホームページ、パンフレット、今里保育園概要に記載しています。
 I-1-2(1)①保育理念・保育方針・保育目標を職員会議で周知をしています。年度初めの職員会議録で確認できました。
 I-1-2(2)②保護者会や入所説明会では、平成28年度に作成したパンフレットを用いて保育理念・保育方針・保育目標などを説明しています。
 I-2-1(1)①平成30年に認定こども園になることや出生人口は増加していない中で待機児童増加の実態など、地域の福祉ニーズの把握に努めていますが、中長期計画はありません。
 I-2-2(1)①保育課程は、懇談会などで得た情報や地域の実態、隣接する長岡第七小学校との連携などを考慮して編成しています。
 I-2-2(2)②保育課程を基に年間指導計画・期別指導計画・月別指導計画を作成し、週案・個別指導計画を作成しています。
 I-2-2(2)③毎月、指導計画の評価について職員会議で話し合いをしていることを会議録で確認できました。
 I-2-2(2)④職員会議、乳児ミーティング・幼児ミーティングなどで話し合い、組織的に作成しています。
 I-2-2(2)⑤園のホームページに掲載しています。行事の時には、保育課程の教育についての話をしたり、各クラスの掲示版に「ドキュメンテーション」で写真や絵、文を入れて説明しています。しかし保護者全員の理解は不十分であると感じています。
 I-3-1(1)①職務分担表に記載し、会議で役割と責任について表明していますが、保育所だより等の広報誌への掲載はありません。
 I-3-1(2)②規定集はありますが、最近の法令などがリスト化できていません。
 I-3-2(1)①同一法人3園で専門分野(表現活動・小学校連携・乳児保育・支援児保育など)を作り、保育士一人ひとりがチームで保育内容を研鑽し、更に主任・園長会議で検討しています。
 I-3-2(2)②パート職員や正規職員が「気持ちよく・意欲をもって仕事ができるように」ということで、毎日主任保育士と意見交換を行うと共に、年に1度園長と個人面談を行い、より良い職場環境づくりに努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	B		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

II-1-(1)①全国保育士会の広報担当、京都府保育士会会長を務める中で、国や保育界の動向を把握しています。また、経営セミナーにも参加して情報・データを把握していますが、事業計画には反映していません。

II-2-(1)①保育士を養成する大学や短大からの実習生はインターンシップと捉え、保育士として育成するようにしています。採用後1年目は嘱託職員、2年目に正規職員になります。3年間は新人と考え、職員集団で支えています。

II-2-(2)①本人・子ども・家族の病気などの突発的な休暇は、主任や看護師などが応援に入る等、休暇を取りやすい体制となっています。時間有給休暇を設け、子どもの参観日などに出席できるようにしています。

II-2-(2)②35歳以上の職員は生活習慣予防健康診断の補助、パートを含む35歳未満の職員は地元の内科や市町村での健康診断の補助をしています。京都府民間社会福祉施設職員共済会に加入し、悩み相談窓口は、乙訓保健所「こころの健康相談」長岡京市「女性の相談室」などを紹介し、相談できるようにしています。

II-2-(3)①年間研修計画を作成し、年度初めの職員会議で確認しています。「研修受講の心得」に研修に関する基本姿勢を明示しています。

II-2-(3)②長岡福祉会のキャリアパス（初任・中堅・リーダー、管理職・指導職・一般）に則り、職員の得意分野、感心分野を取り入れた研修計画を作成し、職員のスキルアップを図るようにしています。職員一人ひとりの個別計画は、来年度に作成する予定です。

II-2-(3)③研修修了後、1～2週間目途に報告書を提出し、特に共通理解の必要な研修内容については職員会議で発表しています。個別の研修計画の評価・分析は来年度に実施する予定です。

II-2-(4)①実習生受け入れのマニュアルを整備し、基本的な姿勢を明示しています。さらに、京都府保育士会で実習記録簿にばらつきがないよう統一しようと、園長が委員長となり「実習指導マニュアル」を作成する実行委員会を立ち上げました。

II-2-(4)②夏季の異年齢保育、実習時期に合わせて体験するプログラムがあり、希望を取り入れ担当と連携して一日実習などを計画しています。保育士養成校との連携で実習記録簿をより良いものとする為に、実習計画を検討しています。

II-3-(1)①民生委員や地域のコミュニティを通して地域住民が来園してお餅つきやクリスマスのサンタクロースなどの手伝いをしています。また隣の小学校の土地を借りて野菜を栽培・収穫、近隣の農家の方と触れ合いながら農道散歩をしたりしています。小学校の通学時間帯に園長が園庭角の道路に立って小学校の先生や地域住民と一緒に登校時の見守りを行っています。

II-3-(1)②園庭開放をし、見学は随時受け入れています。管理栄養士が「乳幼児期の食について」の話をする時などは、地域への参加を小学校のコミュニティを通して発信しています。

II-3-(1)③子育て支援員の実習は積極的に受け入れています。マニュアルに意義・方針を明示していますが、ボランティアに対して研修はしていません。

II-3-(2)①社会資源リストを作成し事務所・職員室に掲示しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	B

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(1)①プライバシー保護に関する規定・マニュアルがあり、着脱やオムツ交換は決まった場所で行い、幼児はトイレを仕切りプライバシーの保護をしています。

Ⅲ-1-(2)①玄関に苦情受付の為のポストを設置し、第三者委員も設置しています。保護者には、年度初めに「個人情報保護に関する基本方針」を配布しています。保護者の了解を得た内容は保育所だよりなどで公表しています。

Ⅲ-1-(2)②意見や要望には速やかに園長・主任が対応しています。苦情解決マニュアルはありますが、見直しを行っていません。

Ⅲ-2-(1)①前は平成26年3月に受診、職員一同で改善に取り組み、ホームページの作成等を行っています。

Ⅲ-2-(1)②学期毎に「主任保育士自己評価」「保育職員自己評価」をしています。それにより配属、研修へ繋げています。また、自己評価は職員間で共有しています。

Ⅲ-2-(2)①子供の身体状況は「健康管理表」に、生活状況は「児童票」（平成27年度より今里保育園独自の様式）また、「健康記録」に成長の記録を記載しています。アセスメントである「観察記録」を毎年「児童票」ファイルにとじ込み、定期的に見直しています。

Ⅲ-2-(2)②記録管理は担任が行い、記録の保管、保存、廃棄に関する規定は「個人情報管理に係る安全装置の概要」に記載しています。「個人情報の保護と情報開示について」の研修は職員会議録で確認できました。守秘義務の遵守は「個人情報保護に関する誓約書」により全職員周知しています。

Ⅲ-2-(2)③タイムカード付近のホワイトボードで申し送り内容を記載し、全職員に周知できるよう工夫をしています。また、職員室内の休憩室にも同内容を提示し、情報の共有を図っています。欠席職員等には、主任より口頭で伝え、職員会議やミーティングにより共通認識が持てるよう連携を図っています。

Ⅲ-3-(1)①ホームページで園での活動内容等を紹介し、園長が毎月更新しています。見学者や保護者に対して保育所の内容を伝えるため、社会福祉法人全国社会福祉協議会収録「保育所は命を育み、学ぶ意欲を育てます」のDVDを使用し、紹介しています。理念や保育サービスを紹介したパンフレットは、長岡京市役所に設置しています。

Ⅲ-3-(1)②保育の開始にあたり、準備物等は保護者に、実物を見せて説明しています。保育料は市で定められており、実費分については、料金表を提示し、保護者の理解を得ています。布団は持参・リースを選択でき、保育用品や体操服などは持参可とし、鍵盤ハーモニカは小学校で購入するので、ホースのみの購入にしています。

Ⅲ-3-(2)①転園・卒園にあたり転園先の保育園や就学する小学校に保育要録を送付していますが、保育終了時以降の相談方法や担当などを広報していません。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

IV-1-(1)①登園時に乳児はれんらくノート、幼児は連絡ボードに保護者が記入し、受け入れ時に保育士が体調確認をしています。体調がすぐれない子どもは、家族と密に連絡をとり、柔軟に対応しています。園内でのケガ等については、迎え時に担任より直接家族に状況を説明し伝えていきます。健康管理については、「登・降園時の対応」マニュアルに記載しています。

IV-1-(1)②健康診断の結果をもとに、園医とカンファレンスを行い、全職員に周知し、状況に応じた対応を行っています。健康診断は、長岡京市では年に2回、規定に基づいて実施しています。健康診断の結果は「けんこうきろく」ノートに記載し、保護者に渡しています。

IV-1-(1)③歯科検診の結果は、「児童票」に記載し全職員に周知しています。保護者には、「けんこうきろく」ノートに記載し渡しています。歯磨きは、衛生面、危険性から歯科医と相談し、平成27年度より食後はうがいのみの実施としています。

IV-1-(1)④「吐物の処理」を感染症マニュアルに記載し、準備物、対応方法を明示しています。感染症の状況把握では、長岡京市のサーベイランスに基づき、欠席人数の状況報告を毎日提示し、園医に伝わるシステムになっており、欠席者数が多い時は、園医より連絡を受け、情報提供をしています。保護者に感染症の発生状況を伝えるため、園内入り口に掲示したり、毎月発行する「保健だより」で周知しています。

IV-1-(1)⑤食べ物に関心が持てるよう、献立の食材を色別で紹介したり、5歳児5名程度を「あじみ係」として、食事前におかずを味見し、具材、調味料は何を使用しているかを考えさせ、興味が持てる工夫をしています。食事量は、個別の様子を見ながら職員が声掛けを行い、無理なく摂取しています。良い気候の時は、園庭や2階プレイルンドで雰囲気を変えて食事しています。畑で育てた野菜を収穫し、調理することで、食事に興味が持てるようにしています。

IV-1-(1)⑥「給食管理日誌」に残食の記録・検食内容・子どもの喫食状況を記載しています。毎月の給食会議で献立検討し、改善しています。栄養士が1か月に2回、職員より相談を受けた園児に対して直接介入し、適切な食事が行えるよう働きかけています。

IV-1-(1)⑦保護者には年1回「保護者給食試食会」で食べてもらい、給食内容の理解を得ています。食事のサンプルは不衛生ということで掲示していません。

IV-1-(1)⑧保護者は主治医が記載した「食物アレルギーに関する診断書・指示書」を提出しています。給食室との連携では、名前を提示し誤食に留意しています。給食内容にアレルギー食材がある場合、除去や代替品で対応しています。また、持参の調味料等でアレルギー食材への対応をしています。

IV-1-(2)①換気、動線、採光に配慮しています。週1回土曜日に職員が「自主点検表」で遊具などの安全確認を行い、確認した内容を記載し、申し送りをしています。

IV-1-(2)②落ち着ける空間作りで、テラスを設けたり、木のぬくもりが感じられるよう本物の木を使用し、床暖房で裸足で動き回れるよう工夫しています。午睡時には、担任がBGMをかけ、雰囲気づくりを心がけています。

IV-1-(3)①乳児、幼児クラスに分かれてミーティングを行い、また、職員会議で各クラスの気になる子どもについて話し合うようにしています。

IV-1-(3)②0、1歳児は、排泄、食事、睡眠等を個人「れんらくノート」に記載しています。眠りが浅い、夜眠れなかったなどの子ども達には事務室のベッドを使用しています。午睡のない年長児は、状況に応じて柔軟に対応しています。

IV-1-(3)③子どもの発達段階に即した玩具や遊具などを用意しています。主任保育士が作成した坊主めくりなど、昔ながらの遊びを提供し「子どもの考える力」を養えるように促しています。

IV-1-(3)④農道や寺院が近隣にあり 自然環境に恵まれています。また、年長になると電車とモノレールを使用し万博公園まで遠足に行くなど公共交通機関を利用する体験も取り入れています。

IV-1-(3)⑤保育士は、造形、音楽リズム、自然、体育遊び、メディア研究、音楽療法等の研修を深め、表現活動が自由に体験できるように配慮しています。

IV-1-(3)⑥夏季保育や冬季保育で幼児クラスは縦割りの異年齢交流を実施するなど、様々な関わりが持てるようにしています。

IV-1-(3)⑦オーストラリア人講師による歌や遊び（年間約10回）を通して、コミュニケーション能力を養う力を育て、また、「何を言っているのか」という察する能力の育成に努めています。クリスマス時期には、キリスト教の教えを通じて、人に思いやりを持って接する心を育てるようにしています。

IV-1-(3)⑧保育の中では、男女を区別することはなく、年少児あたりから性差があることに気付くことは自然なことと捉えています。男の子は立ってトイレで用を足す等は教えています。

IV-1-(3)⑨乳児の玩具等は、必ず週末に殺菌消毒しています。また、看護師やフリーの職員が食事の時に手伝いに入るなど、個別にゆったり関わられるように配慮しています。

IV-1-(3)⑩長時間保育は、担当の保育士を配置して「長時間保育ノート」を使用し、各クラス担任と連携を図っています。また、乳児は時間帯によってランチルームを使用することで異年齢の子どもたちと過ごすことができるように工夫しています。保育時間が朝7時半～夕方18時半であり、夕食、軽食は提供していません。

IV-1-(3)⑪長岡京市の支援児保育の制度を利用している園児が3名います。それぞれ経験のある保育士を担任等に配置しており、併行通園している療育施設（乙訓ポニーの学校）に見学に行ったり、園長先生が来て、園内研修を開催したりしています。保護者に対しても障害児保育への適切な情報をクラス懇談などで伝える取り組みを行っています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

IV-2-(1)①送迎の際は、気軽にあいさつを交わすことで声をかけやすい雰囲気を作り、日常的に子どもの様子や家庭の様子を聞けるようにしています。また、年2回（5月頃、12月～1月頃）の個人懇談やクラス懇談（6月）を設けています。

IV-2-(1)②保護者から相談等を持ちかけられた場合や気になる園児の様子を伝える場合などは随時懇談を行い、児童記録に個人懇談の内容等を記録しています。また、職員会議記録には、気になる園児の情報を記録しています。

IV-2-(1)③参観やクラス懇談、乳児の親子遠足、幼児の親子クッキングなどの行事終了後に保護者に感想を聞くなど、日常的に保護者と会話をする機会を設けています。

IV-2-(1)④長岡京市役所こども福祉課や保健師、地域の民生委員と連携を図っています。保護者、園児共に気にかけるように心がけています。

IV-2-(1)⑤長岡京市のこども福祉課を通じて児童相談所に通告するようになっています。

IV-2-(1)⑥小学校が隣接しており、交流が盛んであり、年3回程度、研修等の機会を設けています。また、卒園時の保育要録（保育所児童保育要録）は毎年3月中に小学校宛てに送付しています。

IV-2-(2)①一時保育は、リフレッシュ屋緊急での利用があり、既存クラスに交えながら受け入れています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	B

[自由記述欄]

IV-3-(1)①「調理室の衛生管理点検表」「給食による食中毒発生時マニュアル」「衛生管理編 食中毒の予防をするために」「自主点検表」を活用し、適切に衛生管理を実施しています。

IV-3-(1)②「給食による食中毒発生時マニュアル」を職員に周知していますが、マニュアルの見直しがありませんでした。

IV-3-(1)③園内の遊具に関しては「自主点検表」で、随時チェックしています。

IV-3-(1)④「災害発生警報発令時の対応」を保護者、全職員に周知しています。また、緊急時の保護者への通報についてのリストを作成しています。平成29年度からメールで一斉発信を予定しています。

IV-3-(1)⑤職員室内に「不審者への対応」の掲示があり、全職員に周知しています。また、毎年訓練を実施しており、朝9時半～15時半まで通用門を施錠し、不審者への対策をとっています。マニュアルの見直しをしています。年度の記載がありませんでした。